



TOPIX

茨城県北ビジネスプラン 奨励賞 受賞!

日立に元気を! 活力ある地域再構築への意志

2月11日、水戸市にある常陽藝文センターで「茨城県北ビジネスプランコンペティション2016」が行われた。県北地域の活性化を目的として始まったこの支援事業。今年で3回目を迎える。

相鐵は、県内外から52件の応募の中から1次審査を通過し、ファイナリスト10にノミネートされた。

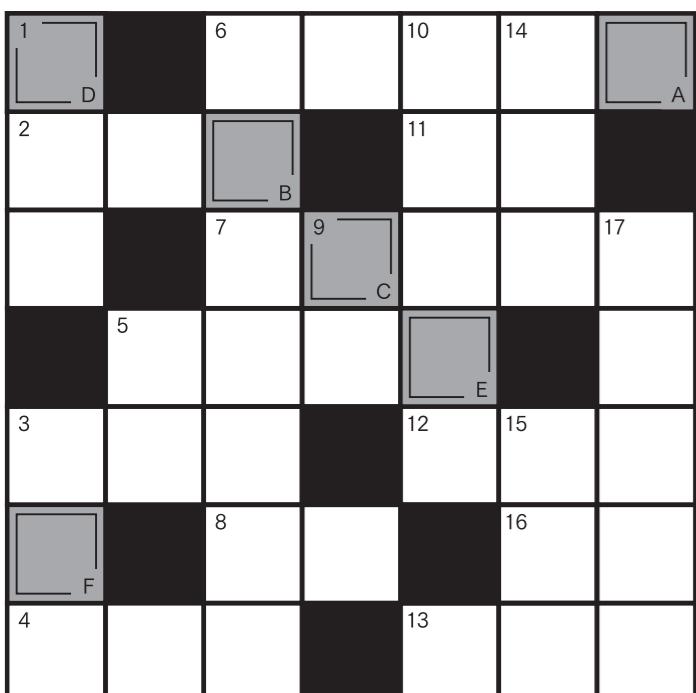
「県北だからこそできる、ものづくりの再構築」というテーマを掲げ、三村代表が8名の審査員を前に熱弁をふるった。惜しくも最優秀賞には手が届かなかったが、現在の疲弊している県北のものづくりに対し、相鐵がハブとなり、この日立の地を活力あるものにしたい、と力強く訴えかけた。

その場にいた誰もが、日立に相鐵あり!と、心に響くプレゼンとなった。



懸賞鐵クロスワードパズル

正解者の中から抽選で生クリーム大福「喜久福」を5名様にプレゼント! LET'S TRY!



ヨコのヒント

- ②染めたり、巻いたり、縛ったり
- ③男性は一番大切にしているはず…
- ④今や主流の連絡手段
- ⑤眠気覚ましの一杯!
- ⑥栃木県産出の軽石
- ⑦有名な彫刻作品
- ⑧東西南北の四方向
- ⑪危ない! 危険!
- ⑫間隔が大事! 神経使います
- ⑬春を知らせてくれる鳥
- ⑯入ると笑いが止まらない

餡とクリームの絶妙なハイブリッド!
食べ過ぎたら、だいぶ苦しい^_^
生クリーム大福「喜久福」
4種詰合せ(16ヶ入)



相鐵の今年の目標は「品質とこれ」です!!

解答欄

A B C D E F

A~Fに当てはめて言葉を完成させよう!
ご応募は左記方法にて受け付けます。

前号の答え ばんどう一

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| そ | ら | か | お | こ |
| い | あ | ど | ば | い |
| き | か | く | ま | り |
| そ | て | ら | め | す |
| ば | め | ん | な | し |
| い | こ | く | こ | は |
| き | ほ | う | り | ー |
| ほ | う | り | ー | ち |

応募締切日

5/31(水)

解答は住所、電話番号、お名前をご記入の上こちらまでお願いします。(担当・平山)
MAIL sayuri.hirayama@soutetsu.jp (24時間受付) FAX 0294-33-2632 (24時間受付)
TEL 0294-33-2005 (午前8:00~午後5:00 土日・祝日を除く)

1週間限定

シマ板(切断・定尺)
5%割引

*対象期間5/22(月)~5/26(金)内のご注文に限ります。
※詳しくはホームページをご覧ください。

ちょっとひと息 編集後記

ご無沙汰しております。1年ぶりの相鐵新聞となりました、編集長の丸藤です。またひとつ歳を重ねてしまいました…。それは私に限ったことではなく、皆さんも一緒のはず。命あるもの全てに共通する概念。この1年何をしましたか? 何か成長した部分はありますか?と聞かれ、来年こそは胸をはって答える「男」になりたいと思う今日この頃です。これを読んでくれている貴方は花粉症ですか。日本人の3~4割の方は何らかの花粉アレルギーらしいですよ。

ちなみに私も軽度な花粉症です。この前、納品途中にインド出身の方と立ち話をすることがありました。その方、しきりに鼻をかんだりすすったり。まさかとは思い聞いてみました。「花粉症ですか」と。答えはYes!。来日してから花粉症になったと言っていましたが、まさに「郷に入れば郷に従え」だなあと。気になっていたらサーチしてみると、欧米にも枯草熱HayFeverなるものが存在していました。世界は広いようで狭いのかもしれません。



[相鐵新聞]No.005-2017
2017年5月発行
編集長 丸藤 秀則
相鐵株式会社
〒316-0004
茨城県ひたちなか市多賀町5-19-10
編集部 Tel0294-33-2005
Fax0294-33-2632
URL www.soutetsu.jp

SOUTETSU PAPER

2017 05

始めなければ、始まらない。未来は、つくるから面白い。“今”を生きるあなたに相鐵新聞



ハイブリッド社員誕生。
「部門の壁」を突き破れ!

この季節になると1年という月日の早さを感じます。それは、春の足音が聞こえて始まる3月下旬、相鐵アワードが開催されるからである。今年の受賞者は、総務部の面川明美である。総務部のイメージを覆すような活躍をみせた彼女は、いたって謙虚に受賞の喜びを語ったのが印象的であった。総務部とは一般的に、内勤で社内業務をこなすというイメージがある。だが、相鐵の中でもとりわけ彼女は異色。普段と同行してお客様の元へ足を運ぶ、展示会に参加し新規顧客との架け橋をつくる。納期調整のために外注先へ出向いて、直接交渉をする。今までにない働き方、固定観念を打ち破り新しい相鐵社員像を確立しつづけるのかも知れない。(アワード受賞のインタビューは3ページに掲載)

②各部門長が発表
去年の反省と今年の目標③製造部佐藤洋平へのインタビュー
新しいファイバーレーザー切断機について④壇上で記念撮影
相鐵の新しい仲間⑤登壇する三村社長
社員に向かってメッセージを送る⑥敢闘賞おめでとうございます
相鐵部 小野寺誠

ここでは、3月24日に開催された「第4回相鐵アワード授賞式」の様子をレポートしたいと思います。全社員が一堂に会し、みんなが楽しみにしている一大イベント。今年1年の活力、社員同士の刺激になる貴重な時間が幕を開けます。昨年同様、司会は鈴木恵理。音響は堀喬史が担当。会場の雰囲気を盛り上げ、スムーズな進行によりゆっくりと時間が流れ始めます。では、相鐵アワード2017のスタートです。

相鐵を語るうえで、この言葉は欠かせない。「赤いブルーカラー」。がむしゃらに汗を流し、体を動かす。ブルーカラーの作業服を着て、「鉄を断ち切る赤い炎のように赤く、赤く、燃えている。僕らがものづくりをつくるんだ。」このフレーズは創業50周年を迎えた3年前、コピーライターである小山さんが相鐵のために作ってくれたものです。今年はご本人から、社員に向けて朗読いただきました。これを聞いたり読んだりすると、相鐵魂がフル充電される気がするんです。まだ知らないあなたは是非、相鐵ホームページをご覧下さい。

続いては、「営業」「総務」「設計」「製造」「配達」の各部門長から、去年1年間の反省と今年の目標などの発表がありました。会社の規模が大きくなると同時に、潜在化・顕在化している問題にどう向き合っていくのか、明確なビジョンが打ち出されました。部門間をつなぐ「鉄のリレー」をスムーズに行えるよう、部門長を中心に切磋琢磨していく。社員全員のベクトルを合わせる意味でも、有意義な時間となりました。

次に登場したのは、製造部 佐藤洋平。昨年の夏に導入した新型レーザー切断機について、インタビューとの対談形式で、苦労したことやプライベートのことまで語ってくれた。入社11年目の34歳。入社後はガス切断からスタート、2年後には現在のレーザー切断担当となった。導入機については、「名前は同じ“レーザー切断機”ですが、まったく別物です。見た目もスタイリッシュになったんですが、当初はボタンを押すだけでも怖かったですね」と話してくれた。当日、会場には家族も駆けつけていた。今現在の仕事へのモチベーションについては、「とにかくやるしかない。妻や子供のためにがんばるしかない。結婚して変わったことは、家族のためにと思えるようになったことですかね」と。相鐵の主力であるレーザー切断機のひとつとして、今後の活躍に目が離せません。

今年も相鐵に新しい仲間が増えます。青い作業着に身を包む彼ら3名が、今年の新入社員です。社会人1年目、期待と不安が入り混じったこの頃がとても懐かしく思います。全てが新しい経験、毎日が新鮮な気持ちで日々を過ごすことでしょう。この第5号が発行されている頃は、現場で汗を流し働いているはずです。後半、沼田工場長から3名に向けてエールが送られました。「がむしゃらに仕事をすること。失敗を恐れずやってほしい。それもまた経験、これからのみんなの肥やしになるから。赤い相鐵魂を胸に刻み、一緒に汗を流し仕事ができる事を楽しんでいます。

三村社長より今年の目標発表がありました。相鐵2017スローガンは、「品質とチームワーク」。社員一丸となり、お客様に満足してもらえる「ものづくり」をしていきます。又、会社全体の組織を見直し、新体制でのスタートとなります。若い社員が増えました。この先、100年企業を目指し相鐵は前に進んでいきます。

いよいよアワードも終盤。ここからは各賞の発表となります。まずは皆勤賞。1年間休みなく仕事に打ち込んだ社員への表彰です。素直に素晴らしいことだと思います。おめでとうございます。続いて敢闘賞。もっと努力し、もっと成長した社員に贈られる賞。栄えある受賞者は、ガス切断担当の小野寺誠です。プレゼンターの相談役からは、「入社当時は、薄板でさえ切断するのに苦労していた彼。だけど、今は厚板も切れようになった。自分に厳しく、がむしゃらに日々努力した結果だと思います。新入社員の3名も、彼を見習ってがんばってほしい。出来ないことはないから。絶対できる!」と言っていたのが印象的でした。

そして、相鐵アワード2017の発表です。

プレゼンターは昨年の受賞者、野内一孝。ドラムロールが鳴る中、「今年の受賞者は、面川明美です」と会場中にその名が響きました。会場からは拍手と賛辞が送られ、今年のアワードも幕を閉じました。受賞スピーチでは、全社員への感謝の言葉を語り、自分の頑張りを評価してくれた社長への信頼も口にしていました。同僚の中には、感動し涙する者もいました。一番近くで見ていたからこそ、その努力と頑張りを知っていました。とても綺麗なフィナーレだったと思います。

来年、この栄冠を手にするのは一体誰なのか。またこの場所でお会いしましょう。お読みいただき、ありがとうございました。

授賞式をレポート!! 相鐵アワード2017



笑顔をたやすく、常にポジティブに仕事をする。今年の受賞者、面川明美である。

入社後と今の自分では大きく変わりましたか。
面川：設計部から総務部へ異動したこと、仕事の幅が広がりました。正直、「ここまでやるの?」と思うこともありますけどね(笑)。

最後に、今後の抱負などお聞かせ下さい。
面川：“元気に明るく”をモットーに、お客様にベストチョイスをお届けしたいと思います。これからも、がむしゃらに頑張ります。



面川明美、相鐵アワード受賞の想いを語る

感謝を忘れず謙虚に「前へ」



※佐藤担当 アマダ製ファイバーレーザー(6段パレットチェンジャー搭載)



※西山担当 日酸タナカ製CO2レーザー

新レーザー切断機導入 変種変量生産の効率化を実現へ

佐藤：銅・純アルミなど切断可能な材料が増えたことですね。
西山：やっぱりスピードですかね。確実に1日の切断枚数は増えていると思います。

本格稼働して6ヶ月、現在の心境を聞かせて下さい。
佐藤：本当の意味で、使いこなせるようになりたいです。
西山：機械に動かされるのではなく、機械を動かしていると言われたいですね。



導入後の感想はどうでしたか。
佐藤：本当に不安しかなかったですね。
西山：僕も同じです。同時に、プレッシャーも感じました。自分たち本人しか操作できないわけですから。

以前と比べて、1番変わったところは。

西山：1日の切断枚数が多くなりました。とにかくスピードUPしたことを感じています。

佐藤：僕の場合は、パレットチェンジャーですかね。以前は2段、現在は最大6段まで可能になったので、設備のスピードに追いつけないです(笑)。

新レーザー切断機の強みはなんですか。



かみやま みゆうと
神山夢有人 製造部



こまつ りゅうき
小松龍樹 製造部



すずき なおゆき
鈴木直幸 製造部

①マイペースでのんびり屋 ②釣り、キックボクシング ③学校行事には積極的に参加し、2.3年時は応援団を務めました ④工業系出身ではないですが、よろしくお願いします ⑤一日でも早く仕事を覚え、資格も取得したいです ⑥家族と焼肉を食べに行く

①闇の深い鈴木です ②エレキギター、読書 ③ボランティア部と理科部を両立し、3年間で100冊読破賞をとったこと ④環境に早くなれたいです。よろしくお願いします ⑤ケガをせず、安心安全に仕事をしたいです ⑥貯金、親に渡す

新しい仲間を紹介します。
①自己紹介 ②趣味
③高校生活のエピソード ④先輩へのメッセージ
⑤今後の抱負 ⑥初任給の使いみち